

見樹院ニュース

O T E R A N E W S

第68号 2016年6月8日発行

浄土宗 見樹院
住職 大河内秀人

〒112-0002

東京都文京区小石川3-4-14

TEL 03(3812)3711

FAX 03(3815)7951

Eメール: kenjuin@nam-mind.jp

[Http://www.nam-mind.jp](http://www.nam-mind.jp)

施餓鬼会のご案内 見樹会総会のお知らせ

日時：6月26日(日)

- 11時～ 受付
- 11時45分～ 法話とご報告
- 12時半～ 施餓鬼法要・墓参
- 午後1時半～ 見樹会総会・会食
- 午後2時半 終了予定

◆供養料：お塔婆料 1本3000円
施餓鬼供養料(お布施)

※6月20日までに出席(人数)、塔婆供養のご連絡
を同封のはがきでご返信下さい。

檀信徒が一堂に会し、無縁仏など、ふだん忘れられがちなお仏さまも供養し、自分自身の餓鬼(むさぼり)の心をしずめ、長寿と健康を祈る法要です。

今年度は、昨年より準備を進めてまいりました、見樹院主体の葬儀について、実際におこなった事例も含め、ご報告させていただきます。まだまだ試行錯誤の状況でもありますが、皆様のご意見やご希望、ご体験などもお聞かせいただきたいと思います。

また、「いのち」と出会う祈りの空間として、発信の拠点として、未来を創造する知恵と勇気を得る場として、多様な可能性が広がっています。やはりお寺というのは、人の思いが集まって、盛り立てられていくことを実感しています。

心ある人々の中で「見樹院」が認知され、様々な方が、阿彌陀如来の誓願を一つ一つ実現する担い手となって、現代の「念仏」をかたちづくり、ご本尊の威光をますます豊かにしてくれています。そんな様子もお伝えいたしたいと思います。

見樹会費納入のお願い

本来、春にお願いすべきところ、住職多忙のため、お施餓鬼のご案内と一緒にさせていただきましたことお詫び申し上げます。

ご納入は郵便振替を原則としておりますが、お施餓鬼の折に会費専用受付を設けます。その場合、封筒に金額とお名前を明記してお渡し下さい。

■見樹会費は、1口3,000円となっておりますが、これまでの口数にこだわらなくて結構です。

会の活動や、見樹院の支援に使用させていただき、見樹院(宗教法人)会計とは別に見樹会(檀信徒)の管理の下、収支を報告させていただきます。

■郵便振替振替口座は、

00150-4-694808

口座名「見樹会」です。

同封の振替用紙をご利用ください。

おぼん だなぎょう お盆のお棚経について

東京では7月13日から15日がお盆期間と言われますが、7月上旬からまわりはじめます。地域によって、あるいは家によって、旧暦の8月にお盆をする方もおられます。新しい方やこれまでうかがっていなかった方もご希望がありましたらご連絡下さい。遠方の方もどうぞ遠慮なく。

新盆の方(新しい仏様のある家)でご親戚が集われる場合は、優先して日程調整・時間調整をさせていただきますのでお早めにご相談ください。飾り方なども、どうぞお気軽にお訊ね下さい。



名取亮さん 追悼 講談会 ご報告

故名取亮さんを追悼する奉納講談会が2月7日に行われ、地元表町町会のみならず、名取さんのご関係者など、本堂一杯の来場者を得て、盛会裡に終了いたしました。

全員女性5人の講談師が、それぞれ名取さんの思い出を語って下さった後、テンポ良く、歴史的事件、伝記、伝承物語などを語り、誰もが楽しく聞ける「教養芸能」を堪能し、故人へのとても良いご供養になりました。見樹院そして見樹会としては、名取さんのご遺志を受け継ぎ、今後も講談会を催していきたいと考えています。

(写真は日本講談協会会長の神田陽子さん。瀬戸内寂聴作「釈迦とその弟子」を演じていただきました。)

正義と平和の実現のために

見樹院は、この世界を極楽浄土に近づけるために取り組む団体と協力し、共に活動を行っています。

日本仏教の歴史を振り返ると、最初は奈良時代に「鎮護国家」のために伝えられ、平安時代の「密教」という限られた人々の教えが、鎌倉時代に浄土宗が「念仏」を、日蓮宗が「お題目」を、臨済・曹洞宗が「坐禅」をすすめて、人々自らが主体となって生き方と未来を決めていく新たな展開が始まりました。いま「民主主義」の時代に生きる私たちは、生き方として、あるいは社会において、大きな可能性と責任を持っています。その点で、それぞれの分野において、より良い未来を目指して実践する人々は、まさに浄土宗の教えを実践していると言えます。

そして、平和と正義の実現のために、宗教宗派を超えて国内外の様々な人々とも連携しています。3月2日には、アメリカ人として初めて原爆資料館の責任者となり、米国各地で被爆者の



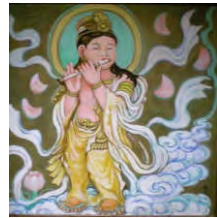
の声を伝える活動をおこなってきた、広島平和文化センター前理事長のステイブン・リーパーさん(写真右)が見樹院でお話され、市民と共に平和な世界をめざす住職と見樹院の取り組みに「私の考えとまったく同じ。一緒に頑張りましょう」と、心強いお言葉をいただきました。

訃報:檀信徒総代 菊田英輔さん

病氣療養中でいらした檀信徒総代の菊田英輔さんが、4月29日、急性心筋梗塞のためご逝去されました(享年85才)。



菊田さんは、株式会社第一広報社の創業社長として、交通広告の第一線で活躍され、常に時代の最先端を行くアイデアと行動力で見樹院をお支えいただきました。旧本堂から、参拝者を見守る菩薩像などの天井画をご寄進され、墓地入口にある合祀墓を整備していただきました。そして、ひとりひとりの法事がなかなか出来にくくなっているなかで、檀信徒合同の供養会をご提案いただいていたことが、現在、毎月第一日曜日に行っている「極楽誕生会」として定着しております。



ご葬儀は、見樹院でご親族による納棺式、密葬が、5月16日に伝通院で、社葬として執り行いました。

見樹院「いのちと未来のシアター」上映会ご案内 パパ、遺伝子組み換えってなあに?

6月19日(日) ①13:30 ②16:30 2回上映

大人1000円、学生500円、小学生以下無料 檀信徒割引あり

3人の子どもを持ったことで「食」について考えるようになった一人の父親であり、映画監督であるジェレミー・セイファートは、種が大好きな長男の影響もあって「遺伝子組み換え食品=GMO」に興味を持ち、家族と共に遺伝子組み換え食品の謎を解く旅にでる。遺伝子組み換え市場シェア90%のモンサント本社や、ノルウェーにある種を保管する「種子銀行」の巨大な冷凍貯蔵庫、GM食品の長期給餌の実験を行ったフランスのセラリーニ教授など、世界各国への取材を重ねるうちに、徐々に明るみになっていく食産業の実態にジェレミーは言葉を失う。

葬儀と供養の専用ホームページ開設

見樹院では、事前相談から看取り、ご遺体の搬送、安置、諸手続き、葬儀、そして納骨まで、すべて一貫して対応できる体制を整えました。費用や段取りのことなどもわかりやすくご覧いただけます。檀信徒以外の方にもどうぞお知らせ下さい。 <http://kenjuin-sougi.com/>

最新情報は見樹院 Facebook ページで